

ジングル村の惨劇

ごうけつ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

少年悟空の残酷話。銃撃など。

目次

ジングル村の惨劇

1

ジングル村の惨劇

少年悟空はドラゴンボールを探してジングル村にやって来ました。悲惨な目に遭うとも知らずに。

凍えてスノちゃんという少女に助けて貰い、彼女の家で元気になりました。

トイレに行き出ようとするとスノちゃん家にレッドリボンの兵士が乱入し

「あの小僧はどこだ！」

と叫びました。

スノちゃんが

「あの…トイレです」

と教えるとマシンガンでトイレの扉を撃ちはじめました。

ガガガガガガガガガガ！

悟空は扉ごしに撃たれまくりです。無言で。

しかし目は見開き必死の形相です。

しばらくして兵士は立ち去りました。

悟空は出るとスノちゃんに

「何で教えたんだ？」

と聞きました。スノちゃんが

「だめ？」

と聞き返すと悟空は無言でスノちゃんを睨みました。

しかしスノちゃんは薬を手渡し

「体、治したほうがいいよ」

と言いました。悟空は治ると

「レッドリボンのところに行ってくる」

とマツスルタワーに向かいました。

悟空がタワーに入るとホワイト将軍が部下に

「小僧が来た。徹底的に攻撃しろ。」

と言い悟空にも

「小僧、一番上まであがってこい。もし無事だったらな」

と挑発。

悟空は部屋に入ると部屋の真ん中まで歩いていきました

。すると兵士達が悟空の前後を挟み

「小僧、よく来たな。死ね」

と言つて拳銃で一発づつ丁寧に撃ち抜いていきました。

「あうっあうっあうっあうっあうっあうっあうっ」

うめき声をあげるだけの悟空。

頭を撃ち抜かれると悟空は倒れました。

そこで攻撃は終わり

「いひひひひひひ、たあいのないガキだぜ」。

しかし気力で立ち上がり階段で体を治し次の階へ、

次はロボットメタリック軍曹です。

メタリック軍曹は悟空の首根っこを掴むと腕を腹、みぞおち、両胸、心臓部に突き通

しました。

その時心臓が背中から押し出されたのです。

気絶した悟空を地面に放り投げたメタリック軍曹は電撃放射をあげせました。

「ぎゃああああああああああああああ」

悲鳴をあげる悟空。

再び気絶するも意識を取り戻し体を治して次の階へ。

次はムラサキ曹長です。

棒手裏剣で刺されまくる悟空、ムラサキ曹長は

「小僧、とっておきの奴をだしてやる。」

「と人造人間8号を出しました。」

しかし人造人間8号は悟空の惨状を見ると

「この子、かわいいそう」

と手裏剣を全部抜いてやりました。

それを見たムラサキ曹長は

「勝手にしろ」

とどこかに消えてしまいました。

悟「おめえは？」

8「おれ、人造人間。みんなには8号って呼ばれてた。」

悟「じゃあおめえのことはハツチャンって呼ぶな」

8「なんだ、そのハツチャンってのは」

悟「だってなんとか8号って言いにくいもんな、友達になろう、な、ハツチャン」

8「ハツチャンか…いいな、それ」

「友達となった二人、

ついにホワイト將軍のところまで到達しました。

しかし悟空は

「おめえがここのボスか…ほら、ドラゴンボールとリーダーだ、やるよ」
素直に渡しました。

すると背後から心臓をいきなり撃ち抜かれたのです。

そう友達だと思つてたハツチャンが悟空を襲つたのです

。悟「…ハツチャン…なぜ？」

8 「おれ、レッドリボン軍、お前のやつてること迷惑。死ぬ」
と拳銃で次々と悟空の体を撃ち抜いていきます。

そしてホワイト将軍も

「よく言つた人造人間8号、それでこそ立派な男だ」

と褒め前から撃ち抜いていきました

。頭を撃ち抜かれ倒れ伏す悟空、

ハツチャンはホワイト将軍に

「将軍、村長も苦しめてやりましょう」

と提案、

ホワイト将軍はもちろんOK。

村長を呼び出すとハツチャンは村長を攻撃、

悟空は「やめろおおお！おめえたち、村長まで、…」

ホワイト將軍は悟空のこめかみを

「うるさい小僧だ」

と撃ち抜き、悟空は氣絶。

再び目を開き立ち上がってみるとハッチャンもホワイト將軍もいません。

「あれ、どこ行つたんだろ」

「そして横たわっている村長を見て」

「あはつ村長の奴死んじまつたのか？まあ、いいか」

「しかし村長も生きていて」

「ぼうず、悪かつたの、お前さんまで巻き込んでしまつて」

悟「氣にすんなよ、村長さん、オラも自業自得だから」

そしてしばらくして通信が入りました。

画面いっぱいハッチャンの顔が現れ。

「聞こえるか、村長達、明日から兵士たちに、ジングル村の人たちを襲わせることにした。

明日からはこの村は地獄になる。ざまあみろ」

と言いました。

通信中は表情を変えなかった二人でしたが通信が切れると二人で

「いやつたあああ」

とおお喜び、

悟「村長、よかったな、みんな撃たれるってよ」

長「ああつ村長としてこんな嬉しいことはない。レッドリボンが来てくれて本当によかったですと思ってる」

そしてハツチャンが帰って来ました。

悟「なあ、ハツチャン、おめええれえな、ちゃんとオラを撃ってくれた。オラ心配したぞ、おめえもやれば出来るんだな。オラ嬉しいよ」

8「ソングクウ、オレレッドリボン軍、お前裏切るの簡単、オレを信用したお前がバカ」

悟「何言ってるんだ、オラ始めからやられるつもりだったぞ」

「8「そうか、それ、とてもいい心がけ」

。そして次の日の朝、悟空は

「なあ、ハツチャン。オラ今日からハツチャンに撃って貰えるんだよな？それでお願いがあるんだけどいいか？」8「何だ、言ってみろ。」

悟「ほらっ昨日オラ散々撃たれたけどここに來てからは一発づつなんだよな、だからさ、オラをマシンガンで撃ってくれ。頼む」

土下座までして頼み込みOKがしました。

ズガガガガガガガガガガガ、

悟「うぎやああああああああああああああああ
終わるとハツチャンは悟空に拳銃を渡し、

「こめかみを撃て」と命令。

悟空はなんのためらいもなく、

ズキューン。

8 「よく出来た、えらい」。

そこへ村長さんがやってきて、

「わしもやってもらおうかな」

と催促しました。悟空は

「大丈夫か？村長さんじいちゃんだからな、相当きついぞ」

それに対して村長さんは

「はははは、わしをあまく見ない方がええぞ、気持ちはまだまだ若いからな」

悟空はハツチャンに

「そんならハツチャン、村長さんを派手にやってくれ」

と促しました。

ズガガガガガガガガガガ、

村長「ぎやあああああああああ」

二人はハツチャンや兵士たちの銃撃をたつぷり堪能しつつ、ムラサキ曹長にも棒手裏剣で攻撃を受け、メタリツク軍曹には胴体を貫かれ、ブヨンに頭部以外生きたまま食われ、

残酷な目に遭い続けたのでした。

そしてジングル村には毎日村人たちの悲鳴がこだまし、惨劇が未来永劫果てる事なくつづきました。

が、みんなそれなりに銃撃のとりことなって幸せを感じました

。スノ「私たち、すごいラッキーよね」